2023 年度　木祖村立木祖中学校グランドデザイン

生徒の姿
○明るく素直で、諸活動に前向きに取り組もうとする生徒が多い。
○授業に真面目に取り組んでおり、積極的に発言する姿勢が育っている。
○全体の場で、考えや思ったことを自分の言葉で話すといった表現力に課題がみられる。
○友と切磋琢磨しながら、課題に対して主体的に取り組み解決しようとする姿に弱さが見られる。

◇学校教育目標

生命（せいめい）を大切にし

自ら伸びようとする生徒

村民の学校教育に寄せる強い願いや期待
昭和 22 年開校、「親はボロをまとっても子どもの教育のために」と昭和 55 年校舎改築。
中庭の巨石「野人の理想」に込められた願いは、どっしりとした人間になってほしい。権力におもねることなく、堂々と自己の確立を目指してほしい。

目指す生徒の姿

自ら考え自ら動く生徒

本年度の重点

○自学自伸	・「**自ら考え自ら動く**」をキーワードとし、自ら伸びる生徒になることを目指す。 ・課題に気づき、解決策を考え、実行し、振り返るという成長モデルを継続していく。
○先見考動	・開始時刻 3 分前を目安に行動を起こし、次の活動の準備ができるようにする。 ・「**自ら考え自ら動く**」ことで、社会的な自立の基礎を身につける。
○率先挨拶	・自分から先に、相手に伝わる挨拶ができるようになる。 ・挨拶を切り口に、学校生活全般で「**自ら考え自ら動く**」生徒を目指す。

自学自伸

1　学習指導の充実
◎研究テーマ
『気づく　つなぐ　分かり合う』
～「自ら学ぶ力」につながる学力の育成はどうあったらよいか～」
○学力向上に向けて
・学力向上プロジェクト設置推進
・小中合同課題検討委員会設置推進
・生徒の学ぶ力を引き出す授業
・教えるから共に学ぶへの転換
・課題解決学習・探究学習の推進
・学び合い、個別最適化、ICT の利活用、授業のUD化
　→相互参観・自主公開授業
・家庭学習、マイプラン学習の充実
・地域で地域に学ぶ、キャリア教育
・特別支援教育、いじめ、不登校
　…チーム支援、自立支援

2　自己確立活動の充実
○自ら考え自ら動く活動推進
・生徒会活動
　R5スローガン
　「昇～ワンステップ上の生徒会を目指して全校で協力する～」

先見考道　率先挨拶

1 活動の充実
・生徒会、学年活動、部活導、行事等、学校生活のあらゆる場面で、各係と連携しながら、生徒の主体性を高める支援を行う
・計画や見通しの提示等、生徒が先を見通して動けるように支援する
・3分前行動

2 教師の姿勢
・教師も自ら考え自ら動く
・生徒の「自ら」を引き出す支援、意欲重視
・教師が変われば子どもも変わる
　人権意識の向上
　非違行為防止
　働き方改革
　傾聴・勇気づけ

共育…家庭・地域・学校で、 共に子どもを育てる

― 子どもは村の宝 ―

◎村教育委員会・木祖村コミュニティスクール・PTA・木祖村スポーツ文化活動運営委員会・木祖村総合型スポーツクラブとの連携
○情報の共有…学校学年通信・HP・参観授業・会議での報告（定例教育委員会・総合教育会議・PTA総会等）
○学校自己評価…学校評価アンケート（保護者・生徒・教師）の実施と公表・見直しと改善
○村独自の活動…すくすく大学・土曜学習会・公設学習塾・大学生による学習支援・あいさつ運動
○村と連携した活動…おおとりの時間・キャリアデー・職場体験・平和学習・地域講師による講演・奉仕活動
○部活動改革…地域移行